

報道関係者各位

株式会社日と々と
西武造園株式会社

滋賀県営びわこ文化公園に、滋賀県内“初”出店となる
ベーカリーカフェ「パンとエスプレッソと」が
2026年6月21日(日)グランドオープンします！
滋賀県のPark-PFI制度を活用し、園内2箇所のカフェ・茶室を
「パンとエスプレッソとびわこ文化公園」「パンとエスプレッソと夕照庵」として
オープンいたします

東京・表参道にあるベーカリーカフェ「パンとエスプレッソと」をはじめ、国内外に72店舗を展開する株式会社日と々と(本社:東京都渋谷区、代表取締役:山本 拓三)は、びわこ文化公園 ゆうゆうパートナーズ(代表企業:西武造園株式会社(本社:東京都豊島区、代表取締役社長:小川 巧))が指定管理者およびPark-PFI事業者として管理・運営する滋賀県営びわこ文化公園内に、滋賀県初出店となるベーカリーカフェ「パンとエスプレッソとびわこ文化公園」、「パンとエスプレッソと夕照庵」を2026年6月21日(日)に2店舗同時にグランドオープンいたします。



パンとエスプレッソとびわこ文化公園



パンとエスプレッソと夕照庵

1. 事業概要:滋賀県営びわこ文化公園への出店について

今回の2店舗オープンは、びわこ文化公園ゆうゆうパートナーズ(代表企業:西武造園株式会社)がPark-PFI制度を活用し、株式会社日々ととの連携によって取り組むものです。

株式会社日々ととは、2022年に株式会社HISと独占パートナーとして業務提携し、海外におけるライセンス展開、ならびに国内におけるご当地オーナー制度“47都道府県「ご当地パンエス」プロジェクト”を推進しています。ベーカリーカフェ「パンとエスプレッソ」と「地域」の魅力を結びつける続ける事で、経済や社会、文化などの動きを活発化し、人々の意欲を向上させる事で地域の維持発展を目指しています。このプロジェクトの趣旨なども踏まえ、びわこ文化公園内の2箇所の飲食スペースをリニューアルし、新たなカフェとしてオープンすることで、「食」の魅力を通じて公園および地域の活性化を図ります。

2社の協業により、公園内でパンやコーヒーなどの商品を誰もが気軽に楽しめるようになるため、多くの利用者の利便性と満足度の向上につながると考えています。さらに、これまで公園に足を運ぶ機会が少なかった方にもカフェをきっかけに来園していただき、公園利用の多様化や活性化にもつなげてまいります。

2. 店舗情報

「パンとエスプレッソとびわこ文化公園」および「パンとエスプレッソと夕照庵」の2店舗とも、芸術・教養の文化施設群と豊かな里山自然林が共存するびわこ文化公園の環境を活かした店舗となっています。

「パンとエスプレッソとびわこ文化公園」

びわこ文化公園内の既存カフェを、ベーカリーへとリニューアルいたしました。“芝生の中のランチボックス”をコンセプトに据えました。広大な芝生広場に併設されたロケーションを最大限に活かし、建築空間そのものをひとつのパッケージとして捉えたアイコン的なデザインが特徴です。緑豊かな風景の中に置かれたランチボックスを想起させる、親しみやすさと遊び心を兼ね備えた空間となっております。

箱を開ける時の高揚感を空間体験として落とし込み、長い年月をかけて地域で育ち愛される、公園の新たな憩いの場として豊かな時間を提供します。



「パンとエスプレッソと夕照庵」

びわこ文化公園内に佇む、茶室「夕照庵」が、新たなカフェとして生まれ変わりました。設計コンセプトは“庭と地続きの石庭空間”です。茶室の歴史的な風情を尊重しつつ、近江八景「勢多の夕照」をイメージした日本庭園が窓の外に広がり、そのまま店内へと入り込んできたかのようなシームレスな空間をデザインしました。店内そのものをひとつの「石庭」に見立てることで、内と外の境界を曖昧にしています。

初夏のサツキや秋の紅葉など、四季折々の自然を間近に感じながら、心穏やかなお茶の時間を楽しめる特別な場所を目指しました。



(1) 店舗名「パンとエスプレッソとびわこ文化公園」

所在地 滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1

電話番号 050-8892-8490

営業時間 9:00~17:00

定休日 不定休

(2) 店舗名「パンとエスプレッソと夕照庵」

所在地 滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1

電話番号 050-8892-9300

営業時間 9:00~17:00

定休日 不定休

Instagramアカウント(2店舗共通) @bread.espresso.and.siga

3. 滋賀県限定メニュー

自家製近江牛カレームートースト 1,500円(税込)

“ムー”とはパンとエスプレッソとの看板ともいえる商品で、バターをたっぷり混ぜ込んだ、リッチな食パンです。香ばしく焼き上げた“ムー”のトーストに、自家製の近江牛カレーをたっぷり。近江牛100%の旨みをベースに、7種のスパイスとトマトのみでじっくり煮込んだ無水カレーは、肉感あふれるジューシーな味わいに仕上げました。仕上げに削りたてのパルミジャーノと、とろりとしたポーチドエッグを添え、濃厚なコクとスパイスの香りが重なり合う贅沢な一皿に。

こちらは「パンとエスプレッソと夕照庵」のみでの販売です。



自家製近江牛カレームートースト

ムー赤こんにゃく 400円(税込)

滋賀の特産品である”赤こんにゃく”を使用した商品。生地にこんにゃくのペーストと出汁を混ぜ込み、さらに赤こんにゃくをそのまま入れ、しっかりとこんにゃくを感じることが出来るよう仕上げました。

近江牛のカレーパン 400円(税込)

近江牛100%と7種類のスパイスを混ぜ、トマト缶でじっくり煮込んだ無水カレーをたっぷり詰めて焼き上げたカレーパンです。

4. 滋賀県営びわこ文化公園について

昭和54年に策定された「びわこ文化公園都市構想」の「芸術、教養の文化クラスター」に位置付けられ、滋賀県を代表する芸術、教養の文化施設群を都市公園内に配置した公園です。

県民が自然と文化を実感できる緑の拠点として、公園にある豊かな里山の自然林、美術館、図書館などの施設、日本庭園や茶室など県の文化施設と一体的に整備された総合公園となっています。瀬田丘陵の雑木林を核とした緑の保全・回復を図るとともに、豊かな自然を活かした自然とのふれあいの場として、里山保全活動の実施にも取り組んでいます。



西武造園株式会社は、2009年度から本公園の文化ゾーンにおける指定管理者として公園の管理・運営に携わり、2022年度からは「びわこ文化公園ゆうゆうパートナーズ」の代表企業として指定管理者およびPark-PFI事業者を選定されており、滋賀県のPark-PFI制度を活用した施設整備・運営などを20年間行います。

今回の事業については「びわこ文化公園ゆうゆうパートナーズ」が、公園内の施設利用促進や活性化を目的に、東京・表参道で人気のベーカリーカフェ「パンとエスプレッソと」の出店誘致に取り組み、公園内での2店舗同時オープンを実現したものです。

所在地 滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1
電話番号 077-543-5831(受付時間 8:30~17:00)

交通アクセス JR琵琶湖線「瀬田駅」より路線バスで10分
大阪方面より 名神高速道路「瀬田西IC」より東へ5分
名古屋方面より 新名神高速道路「草津田上IC」より西へ3分
※詳細は公園WEBサイトの「アクセス」ページをご覧ください

指定管理者 びわこ文化公園ゆうゆうパートナーズ
(代表企業:西武造園株式会社、構成員:株式会社時設計)

WEBサイト <https://www.seibu-la.co.jp/park/biwakobunka/>

5. 各社概要

(1)株式会社日と々と

パンとコーヒー。一日一日味わうものだからこそ、素材やクオリティにまっすぐこだわります。同じ日の連続じゃつまらない、一度きりの「一日」を大切にしたい、との想いを込めています。

商号	株式会社日と々と
本社所在地	東京都渋谷区神宮前3-4-9
設立年月日	2017年3月1日
代表者	代表取締役 山本 拓三(やまもと たくぞう)
事業内容	飲食店の企画、運営
資本金	500万円
WEBサイト	https://www.bread-espresso.jp/

(2)西武造園株式会社

西武グループにおける「造園・緑地事業専門会社」として、設計・施工・維持管理・運営までワンストップなサービス『みどりの総合プロデュース』を全国で展開し、“人”と“みどり”のより豊かで、魅力あるまちづくりに寄与・貢献しています。全国で都市公園等の指定管理者事業やPark-PFI事業などを積極的に展開しており、2026年4月現在63管理事務所525施設※の都市公園等の管理・運営に携わっています。

※子会社である西武緑化管理株式会社、横浜緑地株式会社、西武アグリ株式会社を含めた実績数

商号	西武造園株式会社
本社所在地	東京都豊島区长崎5-1-34
設立年月日	1951年2月15日
代表者	代表取締役社長 小川 巧(おがわ たくみ)
事業内容	みどり環境の計画・設計、緑化空間の施工、維持管理 全国の都市公園等における管理・運営(PPP) 環境学習プログラムの企画・運営等
資本金	360百万円
WEBサイト	https://www.seibu-la.co.jp/

以上